



第67回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和2年12月1日（火）午後7時00分～
会場：プレヴェール渋川

I 講演：『胃瘻管理とトラブル時の対応』

講師：訪問看護ステーション渋川
看護師 秋山 真由美 氏



在宅における「胃瘻管理とトラブル時の対応」について、訪問看護ステーション所属の秋山看護師に講演していただきました。

実際におきやすいトラブルとその対処法はとても参考にな

ったのではないのでしょうか。

この研究会では「摂食嚥下」をテーマに様々な職種の方に講演していただいておりますが、共通して言えるのは日々の「気づき」が大事なんだということを感じます。

参加者内訳

職種	参加人数
医師	3
歯科医師	6
保健師・看護師	13
ST・OT・PT	5
管理栄養士・栄養士	4
介護員	2
その他	3
合計	36

Web参加※	8ヶ所
--------	-----

※1ヶ所で複数名の参加あり

II 講演：『誤接続防止コネクタ導入について』(株)トップ 渡辺 信宏 氏

講演会後半は新規格の誤接続防止コネクタについて説明がありました。新規格のコネクタについての使用方法・切り替え時期などについては独立行政法人医薬品医療機器総合機構や株式会社トップのポータルサイトなどで詳細が掲載されていますので、ご確認をお願いします。取り扱い業者による勉強会なども随時、行われているようです。

III 重症心身障害学会および「ミキサー食注入で健康を望む会」から

旧規格コネクタの存続と使用継続に関するお願い

経口摂取ができない子供たちでも胃瘻からのミキサー食注入は①わずかな逆流により味や香りが楽しむことができる、②アレルギー除去や必要栄養の追加が可能であるなどの利点から、重症心身障害児者ケアの場で広く用いられておりますが、新規格コネクタは様々なリスクのため、アメリカでも移行率が20%以下ということです。

日本政府においては、旧規格コネクタの販売を中止しようとしておりますが、アメリカでも並行販売していることから、日本でも販売継続を求めているお願いです。

詳細は重症心身障害者学会ホームページよりご覧ください。

<http://www.js-smid.org/> (※2021年3月現在、2022年11月で出荷停止予定)

まとめ

胃ろう管理で大切なこと

- ・毎日よく観察する
- ・胃ろうと周囲皮膚の日常ケアが大切

